

104-230

問題文

後日、洋生菓子の原材料である液卵(卵黄)と当該患者の下痢便から共通して医師が予想したものと同一細菌が分離・同定された。細菌性毒素は検出されなかった。この患者の食中毒の原因菌として最も可能性が高いのはどれか。1つ選べ。

1. ボツリヌス菌
2. カンピロバクター・ジェジュニ
3. サルモネラ属菌
4. セレウス菌
5. 黄色ブドウ球菌

解答

問230：4問231：3

解説

問230

卵、生菓子での食中毒なので、サルモネラ中毒が疑われます。すると抗菌薬としてはニューキノロンが一般的に用いられると考えられます。

また、これを知識として知らなかった場合も、選択肢 1 ですがバンコマイシンはグリコペプチド系です。適応がありません。そもそも耐性菌への「切り札」的薬です。原因菌もわからない段階で、いきなり使うとは考えにくいのではないのでしょうか。選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

クラリスロマイシンは、マクロライド系の抗菌薬です。マクロライド系も広い抗菌スペクトラムを有しますが、エンピリック治療（病原微生物を同定する前の治療）においてマクロライドを用いるのは、カンピロバクターを強く疑うといった場合です。カンピロバクターを疑うなら、鳥肉です。生卵ではありません。選択肢 2 は適切とはいえないと考えられます。

選択肢 3 ですが

イトラコナゾールはアゾール系の **抗真菌薬** です。不適切です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

レボフロキサシンはニューキノロン系抗菌薬です。起因菌が確定しておらず、エンピリック治療となる点を考えても、幅広い抗菌スペクトラムを有し、適切と考えられます。

選択肢 5 ですが

イベルメクチンは、マクロライド類に属する **経口駆虫薬** です。不適切です。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問230 の正解は 4 です。

問231

細菌性毒素がないことから、黄色ブドウ球菌ではありません。そして、生卵と、下痢か

ら共通して細菌が分離されていることから、サルモネラ属菌が強く疑われます。
以上より、問231 の正解は 3 です。